

平成 26 年 12 月 10 日

各 位

株式会社 三井住友銀行

三井住友建設株式会社に「S M B C 環境配慮評価融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取：國部 毅）は三井住友建設株式会社（代表取締役社長：則久 芳行）に対し、「S M B C 環境配慮評価融資」を実施致しました。

三井住友銀行では、環境問題を重要な経営課題のひとつと認識し、地球環境保全と企業活動との調和に取り組んでおります。特に、地球環境の維持向上につながる商品の開発やソリューション提供は、金融機関として本業を通じて社会的責任を果たせる業務と考え、力を入れて取り組んでおります。

「S M B C 環境配慮評価融資」は、三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：藤井 順輔）が作成した独自の評価基準に基づき企業の環境配慮状況の評価し、評価結果に応じたご融資条件の設定を行うとともに、環境経営における今後の改善余地を、簡易診断のかたちでご提供する融資商品です。

今回対象となった、三井住友建設株式会社に対する環境配慮状況の評価結果は、「環境マネジメントシステム」「環境保全対策の取組みの状況」「環境ビジネス」などの面で高い水準であると判断され、企業経営において優れた環境配慮を実施されているとの評価となりました。

特に、「環境ビジョン"Green Challenge 2020"」を策定され、環境保全に向けて 2020 年度を目標年度とした数値目標を設定し、PDCA（Plan-Do-Check-Act）サイクルを回しながら継続的な取組改善を図られる点、施工現場において廃棄物削減などの取組みを実施されているほか、施工現場周辺の生物多様性の簡易評価ツールを導入し、生物多様性に配慮した建築物の提案などを実施しておられる点、太陽光発電事業の総合的な提案や構造物の長寿命化、土壌汚染・放射能汚染土壌の除染・減容技術の開発など、環境に配慮した技術開発を通じて、持続可能な社会の実現に貢献しておられる点等が高く評価されました。

三井住友銀行では、本業を通じ、環境配慮を進める企業の活動を支援して参ります。



三井住友建設開発
建材一体型太陽光発電システム



三井住友建設 三田川太陽光
発電所（佐賀県吉野ヶ里町）



ホテルの舞う里山の保全：トンネル工事
の掘削土を利用したビオトープとホテル
生育用の専用水路の整備（京都府）

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。